

2022年スペシャルオリンピックス日本
近畿ブロック

卓球競技会

プログラム

**Special
Olympics**
Nippon
Osaka



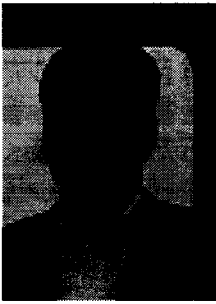
実施日 2022年5月29日(日)

会場 枚方市総合スポーツセンター
メインアリーナ
(枚方市中宮大池4-10-1)

- 主催 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪
- 共催 枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体
- 後援 枚方市・枚方市教育委員会・枚方市社会福祉協議会
- 協力 枚方市卓球連盟
- 事務局 〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町11-5-303
認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪
TEL 06-7171-7457 FAX 06-7632-2801
E-mail son-osaka@maido.zaq.jp

目 次

スペシャルオリンピックスとは	1~2
ご挨拶 スペシャルオリンピックス日本・大阪 村上智則理事長	3
競技会要項	4
日程・開会式次第	5
選手団名簿	6
会場地図	7
競技要項(卓球)	8~9
卓球ゲームルール	10
競技スケジュール	11
競技組み合わせ表	12~16
実行委員会・競技役員・ボランティア名簿	17



ご挨拶

認定特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・大阪
理事長 村上 智則

「2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会」
へようこそ！

本日、近畿ブロックの3地区組織よりアスリート、コーチ、役員、そしてファミリーの皆様をお迎えし、枚方市総合スポーツセンターにおいて、卓球競技会を開催できますことを心からうれしく思っております。

スペシャルオリンピックスでは、競技会を日々のトレーニングに励むアスリートがその成果を発表する機会であると共に、知的障がいのある人への理解、スペシャルオリンピックスムーブメントを推進するために大切な機会と捉えています。

本競技会の開催にあたり、過去の競技会同様二つの目標を掲げました。一つ目は、より多くのアスリートに他地区のアスリートとの競い合いを楽しんでもらいたいということです。4年に一度のナショナルゲームに加え、身近な場所でより多くのアスリートが参加できる質の高い競技会を開催することが、彼らの勇気や喜び、そして自信を育むことにつながると信じています。

二つ目は、各地区で競技会をより活発に開催するための経験とすることです。本大会では、主管の大阪だけではなく、近畿ブロックからも実行委員として、競技と運営面で多くの方が参加しています。ともに、スペシャルオリンピックスのルールを確認し合い、競技団体の皆様のご協力も得て実施することが、これからにつながる大きな力になると信じています。

スペシャルオリンピックスが最も大切にしていることのひとつに「継続する」ことがあります。継続して開催されるブロックでの競技会がすべての面において、素晴らしいものになることを強く願っています。

アスリートの皆さん、いよいよ競技が始まります。日頃の練習の成果を思う存分発揮し、精一杯の力で最高のパフォーマンスを期待しています。皆さんが自らの可能性に挑戦し、ベストを尽くす姿は大きな感動をよび、競技会に関わる全ての人々を勇気づけるに違いありません。

最後に本競技会の開催にあたり、ご協力をいただいた枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体および枚方市卓球連盟の皆様をはじめ、すべての皆様の温かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

スペシャルオリンピックス（SO）とは？

スペシャルオリンピックスの使命

知的障がいのある人たちに年間を通して、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し、参加したアスリートたちの健康や体力増進、スキルの向上を促進するだけでなく、勇気をふるい、家族や他のアスリートそして地域の人々と才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することである。

スペシャルオリンピックスの始まり

1962年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたデイ・キャンプがスペシャルオリンピックス（SO）の始まりです。知的障がいがあるために、まだ一度もプールで泳いだり、トラックを走ったり、バスケットボールをしたことがない人たちにスポーツを提供する、それが彼女の願いでした。実は彼女の姉ローズマリーには、知的障がいがありました。

1968年にジョセフ・P・ケネディ Jr 財団の支援により組織化され、「スペシャルオリンピックス」となり、全米から世界へと広がっています。また1988年に、国際オリンピック委員会（IOC）と「オリンピック」の名称使用や相互の活動を認め合う議定書を交わしています。本部はアメリカ、ワシントン D.C.にあり、170カ国以上で、約370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが活動に参加しています。

日本での活動

1980年に「日本スペシャルオリンピックス委員会（JSOC）」が設立され活動を行っていましたが、1992年に解散しました。そうした中、1991年夏の世界大会に熊本から参加した10才のアスリートと彼女を育てたボランティアコーチが、体操競技で銀メダルを獲得しました。ダウン症と難聴のあるアスリートの快挙は多くの人々の感動を呼び、熊本の地でボランティアの輪が広がり、1993年3月「スペシャルオリンピックス熊本」が発足、翌1994年11月に国内の本部組織である「スペシャルオリンピックス日本（SON）」が設立されました。

現在は47都道府県すべてに活動が広がり、2018年現在、全国8,480人のアスリートと13,699人のボランティアが参加しています。

組織は、2011年公益財団法人の認可を得、現在活動を継続しています。

日常トレーニング

スペシャルオリンピックスの最も大切な活動は、各地で行われる日常的なスポーツトレーニング・プログラムです。アスリートの住む地域の施設を会場に、同じ地域に住むボランティアが運営、コーチなどを務め、アスリートたちとスポーツを楽しむことがプログラムの基本方針です。

このプログラムで、アスリートはチャレンジする勇気を身につけ、達成する喜びを知ります。さらに、ボランティアと親しみ仲良くなることで彼らの世界は広がり、地域社会にふれあう機会を得ます。

一方で、ボランティアもアスリートたちと接することにより、知的障がいのある人に対する理解を深めながら人として大切な多くのことを学び、地域社会もアスリートたちを普通に当たり前に受け入れていくことになります。

今、この瞬間も世界のどこかでアスリートたちがプログラムに参加し、多くのボランティアがそれぞれのプログラムを支えています。

競技会とディビジョニング

スペシャルオリンピックスの競技会は地区大会、全国大会（ナショナルゲーム）、世界大会等があります。国内では、1995年熊本で初の夏季ナショナルゲームが開催され、翌1996年には宮城と福岡で初冬季ナショナルゲームが開催されました。今年2022年11月には、広島で第8回夏季ナショナルゲームが、開催されます。2020年2月には北海道におきまして、第7回冬季ナショナルゲームが開催される予定でしたが、コロナ禍のため中止となりました。

世界大会は、日頃のトレーニングの成果の発表としてだけでなく、異文化社会の体験と交流の場として、1968年の第1回夏季大会を皮切りに、夏季冬季とも4年毎に開催されています。2005年2月には、アジアで初めて長野県において、SO冬季世界大会が開催され、約2500人の選手団、約11,000人のボランティアが参加しました。

スペシャルオリンピックスでは、アスリートの可能性が最大限に発揮できるよう、競技会でディビジョニングをおこないます。ディビジョニングとは、年齢、性別、競技能力の到達度などに応じてクラス分けすることですが、ほぼ同じ競技能力レベルで競い合うことにより、アスリートにとって最も効果的な競技環境を提供することができ、アスリート個々人の成長を刺激することができると思っています。

また、スペシャルオリンピックスの競技会で予選落ちはありません。予選はディビジョニングのための競い合いであり、競技会に出場したアスリートは全員が決勝に進み、全員が表彰台に立ち表彰を受けます。全てのアスリートに勝利のチャンスが与えられているのです。

スペシャルオリンピックスの競技会精神は、以下の言葉に集約されています。

『スペシャルオリンピックスで大切なものは、

最も強い体や目を見張らせるような気力ではない。

それは各個人のあらゆるハンディに負けない精神である。

この精神なくしては勝利のメダルは意味を失う。

しかしその気持ちがあれば決して敗北はない。』

創設者 ユニス・ケネディ・シュライバー

トレーニング・フォー・ライフ

スペシャルオリンピックスでは、スポーツをすること自体がアスリートたちの最終目標であるとは考えていません。スポーツは、彼らの可能性を伸ばすために適した最良の方法の一つだと考えています。

スペシャルオリンピックスの最大の目標は、アスリートたちのさまざまな能力を高めること、彼らに自信と勇気を持ってもらうこと、そして彼らの心と体を成長させることにあります。

トレーニングや競技の現場で身につけたことが、アスリートの人生において彼ら個人の向上や自立、社会参加につながることを目指し、そのための機会を途切れることなく提供していきたいと考えています。彼らがあらゆる意味で成長し、責任を持って仕事をこなし、リーダーになれることを示したいと願っています。

「2022年 スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会」

開 催 要 項

1. 大会名 2022年 スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会
(詳細は、競技要項参照)
2. 主 催 認定特定非営利活動法人スペシャオリンピックス日本・大阪
3. 共 催 枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体
4. 後 援 (予定) 枚方市・枚方市教育委員会・枚方市社会福祉協議会
公益財団法人スペシャオリンピックス日本
5. 会 場 枚方市立総合スポーツセンター
住 所：〒573-0004 大阪府枚方市中宮大池 4-10-1
TEL：072-848-4800 <http://hirakata-taikyo.org/sc/>
6. 開催日 2022年 5月29日(日) 10:00開始予定(開場9:00)
7. 開催目的
 - *大阪のみならず、近畿ブロック内で日常のスポーツプログラムに参加している知的障がいのあるアスリートが日頃のトレーニングの成果を競い合い、更なる目標を得る機会とする。
 - *競技会を通してアスリートの自立性と社会性を高め、コーチやボランティアを含む全ての参加者が交流し、理解と友好を深める。
 - *スペシャルオリンピックスの活動内容やその素晴らしさを広く近畿圏にアピールし、アスリートに対する理解を深めると共に、より多くの人たちが互いの違いを認め合い、包み込む社会を促進する機会とする。
8. 参加者 ・兵庫、滋賀、京都、大阪在住のアスリート 50名
(予定) ・競技役員、運営ボランティア 50名
9. 参加費 アスリート 1名 1,000円
2種目以上エントリーの場合は、1,500円

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 事務局

事務局長 井上 幹一

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町11 ロータリーコーポ東高津303号

TEL 06-7171-7457 FAX 06-7632-2801 E-mail son-osaka@maido.zaq.jp

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会

大会開催日 2022年5月29日(日)

9:00 ボランティア受付 ・選手団受付

10:00 開会式

10:20 競技開始

16:00 競技終了

16:00 表彰式・閉会式

開会式

9:55 選手団 集合

10:00 開会式 開始通告

10:01 主催者挨拶 理事長 村上 智則

(認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪)

10:04 激励の言葉

枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体
代表様

枚方市卓球連盟 副会長 岡副 大 様

10:10 競技役員紹介

枚方市卓球連盟 他

10:11 アスリート宣誓 (参加地区代表)

「わたしたちは 精一杯 力をだして

競技します

たとえ、勝てなくても がんばる勇気を

あたえてください」

10:13 開会宣言

アスリート代表

10:15 開会式 閉式通告

10:16 競技開始 諸連絡 競技部長 浦本 朋視

表彰式・閉会式

16:00 表彰式開始

団体・ダブルス・シングルの順に行う。

16:20 閉会式開始

講評

枚方市卓球連盟 副会長 岡副 大 様

主催者閉会挨拶

副理事長 勢木 俊二

16:30 閉式通告

2022年スペシャオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会 参加者名簿

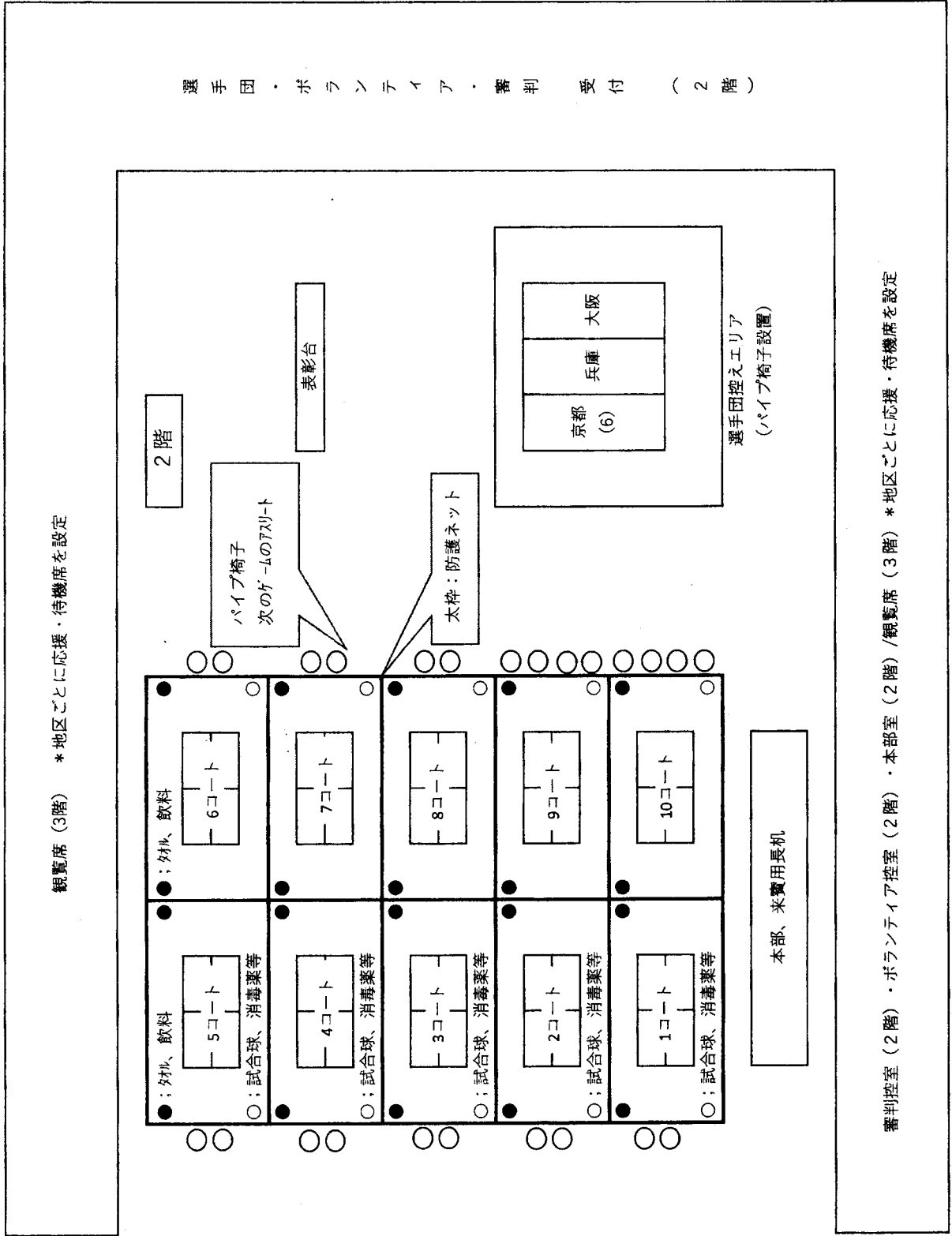
SON・京都;アスリート 3名 コーチ 2名

SON・兵庫;アスリート 13名 コーチ 4名

SON・大阪;アスリート 12名 コーチ 3名 合計;アスリート 28名 コーチ 9名

NO	氏名	ふりがな	性別	地区	シングルス	ダブルス	団体	ユニファイド	個人技能
1	浦本 詩也	うらもと ふみや	男	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
2	岡 伸弥	おか しんや	男	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
3	緒方 碩	おがた さとい	男	大阪	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
4	小川 祐輔	おがわ ゆうすけ	男	大阪	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
5	小野 力	おの ちから	男	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
6	川口 和也	かわぐち かずや	男	大阪	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
7	高橋 奈緒	たかはし なお	女	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
8	馬場 環美	ばば たまみ	女	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
9	桧垣 恵美	ひがき えみ	女	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
10	福島 誠一郎	ふくしま せいいちろう	男	大阪	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
11	紅山 凱人	べにやま がいと	男	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
12	山本 詩織	やまもと しおり	女	大阪	シングルス		団体	ユニファイド	
13	辻 健太	つじ けんた	男	京都	シングルス		団体	ユニファイド	
14	藤田 勝信	ふじた かつのぶ	男	京都	シングルス		団体	ユニファイド	
15	前川 瑠美奈	まえがわ るみな	女	京都	シングルス		団体	ユニファイド	
16	池田 貴史	いけだ たかふみ	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
17	戎 宏太郎	えびす こうたろう	男	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
18	小野 敦史	おの あつし	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
19	木佐木 志保	きさき しほ	女	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
20	鯉沼 和寛	こいぬま かずひろ	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
21	古結 勇斗	こけつ ゆうと	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
22	高井 雄斗	たかい ゆうと	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	
23	田中 陸斗	たなか りくと	男	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
24	永井 温	ながい はる	女	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
25	長友 光宏	ながとも みつひろ	男	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
26	中村 美知瑠	なかむら みちる	女	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
27	浜辺 柊吾	はまべ しゅうご	男	兵庫	シングルス	ダブルス		ユニファイド	
28	濱本 優太	はまもと ゆうた	男	兵庫	シングルス		団体	ユニファイド	

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック 卓球競技会
会場レイアウト



審判控室 (2階)・ボランティア控室 (2階)・本部室 (2階) / 観覧席 (3階) * 地区ごとに応援・待機席を設定

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会

◆ 卓球 競技要項

1) 競技種目

(1) 個人技能競技 (エントリー数によって、男女混合も有り得る。)

- ①ハンドトス
- ②ラケットバウンズ
- ③フォアハンドボレー
- ④バックハンドボレー
- ⑤サーブ

(2) シングルス (男・女)

(3) ダブルス (男・女・混合ペアを同じグループとする)

(4) ダブルス (ユニファイドレクリエーション; アスリート+ファミリー、ボランティア)

(5) 団体競技 (地区を超えてのチーム編成可)

2) 会場

枚方市立総合スポーツセンター (大阪府枚方市中宮大池 4-10-1)

3) 競技ルール

スペシャルオリンピックススポーツルール 2016 第I章総則及び卓球 (2016年6月改訂版) に則って行う。ただし、本ルールに矛盾しない限り、公益財団法人日本卓球協会日本卓球ルール 2017 を適用する。なお、本大会においてローカルルールを設ける場合がある。

4) エントリー

*アスリート、コーチ、ボランティアは、2022年1月1日時点で、SON各地区に登録しており、大会に際して健康で、安全に参加できること

(1) 個人技能競技エントリー者は、ユニファイドレクリエーション、団体競技にエントリーできる。

(2) シングルス、ダブルス 2種目にエントリーできるものとする。(4)(5)は、エントリー不可

(3) 個人技能競技については、ハンドトス、ラケットバウンズ、フォアハンドボレー、バックハンドボレー、サーブの5種目全てにエントリーすること。

5) ディビジョニング及びスペシャルオリンピックス精神の遵守

アスリートとコーチは、スペシャルオリンピックススポーツルール 2016 第I章総則「10. スペシャルオリンピックスのディビジョニング」を良く理解しておくこと。

6) 競技方法および注意事項

(1) 試合球

プラスチック製硬式国際公認球 (白色) を使用する。メーカーは運営側で決定する。

(2) 個人技能競技

個人技能競技の詳細は SO 夏季スポーツ公式ルール卓球 (2016年6月改訂版) に従うが以下のことを注意事項として追記する。

①ハンドトス

競技者は片手もしくは両手を使ってトスをするが、ボールは 10cm 以上上方に投げ上げることとする。カウントする者が 10cm に満たないと判断した場合は、回数に数えない。

(本大会ローカルルール)

②フォアハンドボレー/バックハンドボレー

送球者は、自分のサイドのエンドラインの後ろに立って送球する。

競技者のボレーしたボールが送球者側のコートのもどこに入っても得点(1点)とする。

③競技順

競技は各種目でそれぞれ2回行い得点の良い方を獲得点とするが、競技者が複数の場合は2回続けて行わず、全競技者が1回終えてから2回目を行う。

(3) シングルス (男・女)

①予選リーグ

エントリーと共に提出された個人技能競技のスコアを元にしたディビジョニングによってリーグを組む。

1試合あたり5分間(試合中に時間を止めない)とする。得点が11点となっても時間終了まで試合を継続する。サービスは2本交替とし、サイドの交代は行わない。

②決勝リーグ

予選の結果を元にディビジョニングを行い、リーグを組む。

3ゲームスマッチで行う。

(4)ダブルス (男・女)

① 予選リーグ

エントリーと共に提出された個人技能競技のスコアの合計を元にしたディビジョニングによってリーグを組む。

3ゲームスマッチで行う。

② 決勝リーグ

予選の結果を元にディビジョニングを行い、リーグを組む。

3ゲームスマッチで行う。

(5)その他

*タイムアウト制、促進ルールは適用しない。

*サービスで卓球台に落として上がってきたボールを打った場合の可否は、参加アスリートの状況を踏まえて、当日ヘッドコーチ打ち合わせで、決定する。原則ではフォールトとする。

7) 服装

・国際卓球連盟ハンドブック2016に従う。

よって、JTITAマーク入りのユニフォームでなくても、短パン(ハーフパンツを含む)、半袖シャツであれば構わない。それ以外の服装の場合は、事前に審判長に申し出ることとする。

・試合球(白色)と同系色のものは避けることとする。

・地区名と氏名の入ったゼッケンは背中に付けることとする。

8) 抗議

抗議手続きは、リザルト掲示後15分以内にヘッドコーチ(ヘッドコーチが不在の場合はヘッドコーチが指名した登録コーチ)がルール委員会に対して所定の書面を提出すること。

9) その他

競技中はアスリート、コーチ、競技役員、大会委員、許可を得た報道関係者以外の競技エリアへの立ち入りを禁止する。また、競技エリアでの白色系服装は避けること。

ゲーム進行ルール

① シングルスゲーム 予選

・1セット 5分マッチ

* 入場、ジャンケン、ラバー確認 1分 → 練習 1分 → ゲーム 5分 → 退場

* 進行は、一斉に放送での指示に沿って行います。

◎ 予選の状況を確認し、各地区ヘッドコーチ・浦本競技部会長によるディビジョン委員会にて決勝ディビジョンを決定する。(昼食休憩時に開催)

② シングルスゲーム 決勝

・ディビジョン委員会にて決定したディビジョンにて行う。

・11点 3セットマッチ

・ディビジョン内アスリートの総当たりにておこなう。

③ ダブルスゲーム 決勝

・各地区ヘッドコーチよりの申告により表記ディビジョンにて行う。

・11点 3セットマッチ

・5チームの総当たりにて行う。

④ ユニファイドレクリエーション 1部 ダブルス

・アスリートと審判員、ボランティア、ファミリーとでダブルスチーム構成する。

・障がいのある選手と障がいのない選手との交流親睦、相互理解を目的とする。

・11点 3セットマッチ

・原則として、ルール通りとするが、同じ選手が、連続してラリーしても可とする。

・ポジションチェンジは、可能であれば、行う。

⑤ ユニファイドレクリエーション 2部 ダブルス

・アスリートと審判員、ボランティア、ファミリーとでダブルスチーム構成する。

・障がいのある選手と障がいのない選手との交流親睦、相互理解を目的とする。

・11点 3セットマッチ

・できる限り、ルールに従って行う。

⑥ 団体競技 1チーム 4~5名

・1回戦、決勝、3位決定戦 それぞれは、3ゲームおこない、参加アスリートの全員が、必ず出場する。

・11点 3セットマッチ × 3ゲーム

シングルスゲーム (予選) 対戦表

予選ディビジョン1 1コート

① 長友 光宏 (兵庫)	-	戎 宏太郎 (兵庫)
② 緒方 碩 (大阪)	-	川口 和也 (大阪)
③ 長友 光宏 (兵庫)	-	緒方 碩 (大阪)
④ 戎 宏太郎 (兵庫)	-	川口 和也 (大阪)
⑤ 長友 光宏 (兵庫)	-	川口 和也 (大阪)
⑥ 戎 宏太郎 (兵庫)	-	緒方 碩 (大阪)

予選ディビジョン2 2コート

① 浜辺 柁吾 (兵庫)	-	田中 陸斗 (兵庫)
② 福島 誠一郎 (大阪)	-	紅山 凱人 (大阪)
③ 浜辺 柁吾 (兵庫)	-	福島 誠一郎 (大阪)
④ 田中 陸斗 (兵庫)	-	紅山 凱人 (大阪)
⑤ 浜辺 柁吾 (兵庫)	-	紅山 凱人 (大阪)
⑥ 田中 陸斗 (兵庫)	-	福島 誠一郎 (大阪)

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会

タイムスケジュール(予定)

時刻	次第	活動内容	会場・準備物等	備考
8:30	スタッフ集合	任務打合せ・受付準備		
9:00	選手団、ボランティア受付	任務別打ち合わせ	大会本部室	
		選手団 更衣 観覧席待機		
	審判受付	打ち合わせ後設営	選手控室	
9:30	ウォームアップ開始	分担された卓球台にて実施	メインアリーナ	
	ヘッドコーチミーティング		大会本部室	
	審判打ち合わせ		選手控室	
10:00	開会式 開始		メインアリーナ	
10:15	開会式 終了	試合場へ移動		
10:20	ダブルスゲーム決勝 開始		メインアリーナ	
10:35	ユニファイドレクリエーション1部開始		メインアリーナ	
11:35	ダブルスゲーム決勝 終了		メインアリーナ	
11:40	シングルスゲーム予選 開始		メインアリーナ	
12:26	シングルスゲーム予選 終了			
	休憩・昼食	昼食を食べる	3F 観覧席	
13:10	シングルスゲーム決勝 開始		メインアリーナ	
14:40	ユニファイドレクリエーション2部開始		メインアリーナ	
15:00	団体戦 開始		メインアリーナ	
15:50	団体戦・ユニファイドレク2部 終了		メインアリーナ	
16:00	表彰式・閉会式	応援者は、アリーナへ移動	メインアリーナ	
16:30	式典終了 撤収 解散		メインアリーナ	

シングルスゲーム (予選) 対戦表

予選ディビジョン3 3コート

① 小野 敦史 (兵庫)	—	古結 勇斗 (兵庫)
② 小川 祐輔 (大阪)	—	辻 健太 (京都)
③ 小野 敦史 (兵庫)	—	小川 祐輔 (大阪)
④ 古結 勇斗 (兵庫)	—	辻 健太 (京都)
⑤ 小野 敦史 (兵庫)	—	辻 健太 (京都)
⑥ 古結 勇斗 (兵庫)	—	小川 祐輔 (大阪)

予選ディビジョン4 4コート

① 永井 温 (兵庫)	—	中村 美知瑠 (兵庫)
② 高橋 奈緒 (大阪)	—	馬場 環美 (大阪)
③ 永井 温 (兵庫)	—	高橋 奈緒 (大阪)
④ 中村 美知瑠 (兵庫)	—	馬場 環美 (大阪)
⑤ 永井 温 (兵庫)	—	馬場 環美 (大阪)
⑥ 中村 美知瑠 (兵庫)	—	高橋 奈緒 (大阪)

シングルスゲーム (予選) 対戦表

予選ディビジョン5 5コート

① 濱本 優太 (兵庫)	-	鯉沼 和寛 (兵庫)
② 高井 雄斗 (兵庫)	-	浦本 詩也 (大阪)
③ 濱本 優太 (兵庫)	-	高井 雄斗 (兵庫)
④ 鯉沼 和寛 (兵庫)	-	浦本 詩也 (大阪)
⑤ 濱本 優太 (兵庫)	-	浦本 詩也 (大阪)
⑥ 鯉沼 和寛 (兵庫)	-	高井 雄斗 (兵庫)

予選ディビジョン6 6コート

① 池田 貴史 (兵庫)	-	藤田 勝信 (京都)
② 岡 伸弥 (大阪)	-	小野 力 (大阪)
③ 池田 貴史 (兵庫)	-	岡 伸弥 (大阪)
④ 藤田 勝信 (京都)	-	小野 力 (大阪)
⑤ 池田 貴史 (兵庫)	-	小野 力 (大阪)
⑥ 藤田 勝信 (京都)	-	岡 伸弥 (大阪)

シングルスゲーム (予選) 対戦表

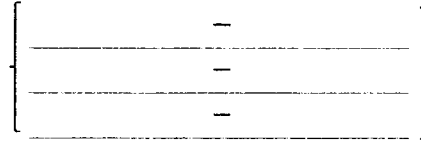
予選ディビジョン7 7コート

① 前川 瑠美奈 (京都)	-	木佐木 志保 (兵庫)
② 山本 詩織 (大阪)	-	桧垣 恵美 (大阪)
③ 前川 瑠美奈 (京都)	-	山本 詩織 (大阪)
④ 木佐木 志保 (兵庫)	-	桧垣 恵美 (大阪)
⑤ 前川 瑠美奈 (京都)	-	桧垣 恵美 (大阪)
⑥ 木佐木 志保 (兵庫)	-	山本 詩織 (大阪)

ダブルス 対戦表

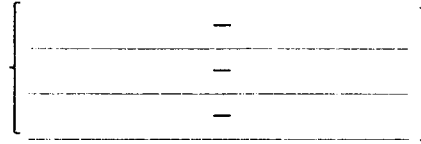
9コート

①長友・田中組 (兵庫)



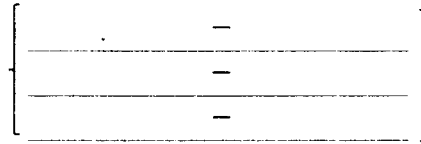
②小川・福島組 (大阪)

①長友・田中組 (兵庫)



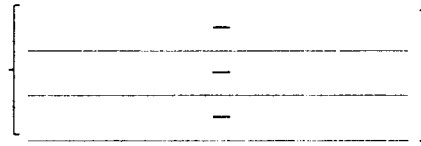
③戎・中村組 (兵庫)

②小川・福島組 (大阪)



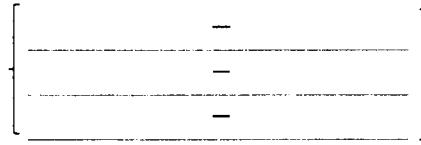
④緒方・川口組 (大阪)

③戎・中村組 (兵庫)



⑤浜辺・永井組 (兵庫)

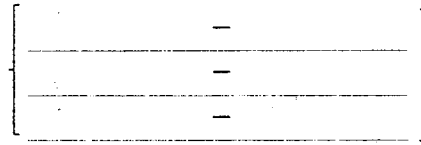
④緒方・川口組 (大阪)



⑤浜辺・永井組 (兵庫)

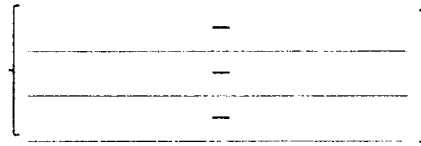
10コート

③戎・中村組 (兵庫)



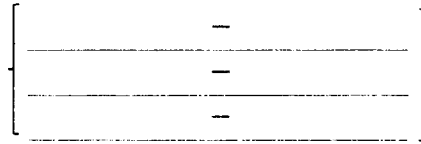
④緒方・川口組 (大阪)

②小川・福島組 (大阪)



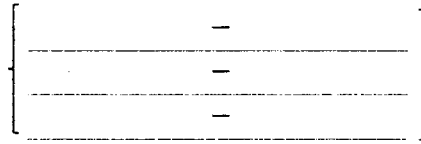
⑤浜辺・永井組 (兵庫)

①長友・田中組 (兵庫)



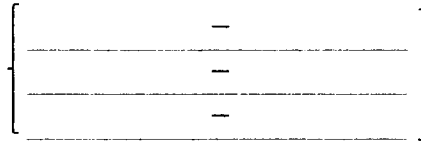
⑤浜辺・永井組 (兵庫)

①長友・田中組 (兵庫)



④緒方・川口組 (大阪)

②小川・福島組 (大阪)



③戎・中村組 (兵庫)

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会役員実行委員名簿

役 職	氏 名	所 属
大会会長	村上 智則	SON・大阪 理事長
大会副会長	勢木 俊二	SON・大阪 副理事長
競技部会長	浦本 朋視	SON・大阪 卓球ヘッドコーチ
審判部長	吉村 敏治	枚方市卓球連盟 会長
運営部会長	井上 幹一	SON・大阪 事務局長
式典・表彰部長	柳井 祥晴	SON・大阪 スポーツプログラム委員長
広報部長	丸尾 欽造	SON・大阪 常務理事
会場責任者	嶋田 敬	枚方市スポーツ協会

競技審判名簿

枚方市卓球連盟

吉村 敏治	岡副 大	米沢 光晃	重松 敏治	岩川 義行
園館 英輝	森川 顕洋	下地 政樹	矢野 勇作	田中 久美子
北川 啓子	安田 恵子	池内 順子	小林 八重子	小西 薫
久保田 彰子	森実 律子	清水 真理	伊藤 信子	

その他団体所属

工藤 美穂	杉原 武	黒石 義明	佐武 和則
-------	------	-------	-------

ボランティア

関電パワーテック株式会社	藤島 健	片山 卓也
SCSK株式会社	高橋 信好	
SON・大阪 コーチ	糸瀬 力	近藤 博義

実行委員(SON・大阪アスリート)

浅野 なつみ	西 麻梨子	田井 秀析	川口 和也
福島 誠一郎	山本 詩織	小川 友輔	